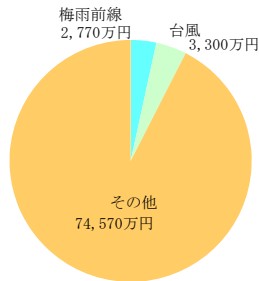


## IV章 農村

### ★ 農村が抱える問題

2008年に東海地域で発生した災害による被害額は8月28日から29日未明にかけての局地的な大雨が被害の大半を占めていて、総被害額は8億640万円となりました。

(2008年災害の内訳 (被害別))



愛知県幸田町 農地 土砂埋塞



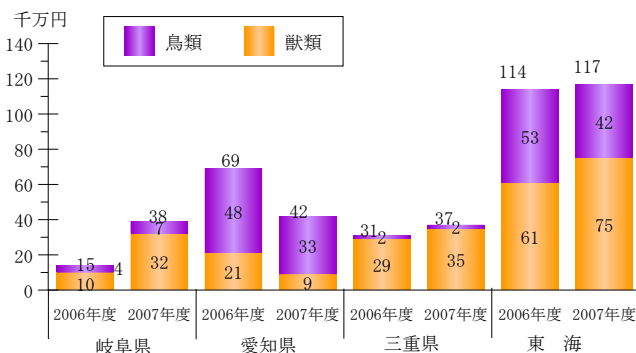
三重県津市 頭首工 崩壊

資料：東海農政局調べ。

東海3県における2007年度の野生鳥獣による農作物の被害金額は11億7千万円で、前年度に比べ3千万円増加しました。

東海地域では、獣類の被害額が全体の6割以上を占めています。

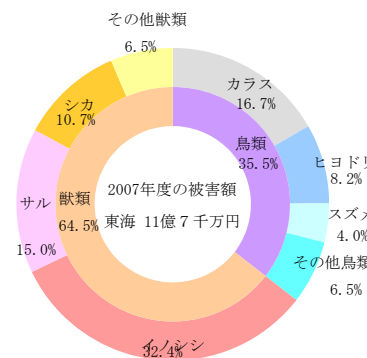
野生鳥獣による被害金額の推移



資料：東海農政局調べ。

注：単位未満四捨五入のため、合計と内訳が一致しない場合がある。

鳥獣別被害金額割合



資料：東海農政局調べ。

注：単位未満四捨五入のため、合計と内訳が一致しない場合がある。

岐阜県と三重県は獣害が、愛知県は鳥害の割合が多いね。



農地や農業用水等の資源を守るには、地域の協力が不可欠です。「農地・水・環境保全向上対策」では、地域ぐるみで効果の高い「共同活動」への支援と、化学肥料・化学合成農薬を大幅に低減する先進的な「営農活動」に支援を行っています。

「共同活動」



完成式で魚を放流する子どもたち



町民総出の川役活動

「営農活動」



不耕起田での植付け作業



フェロモントラップを利用した害虫の発生予察

## ★ バイオマス

バイオマスとは、生物資源(bio)の量(mass)を表す概念で、「再生可能な、生物由来の有機性資源で化石資源を除いたもの」です。バイオマスは、太陽のエネルギーを使って、水と二酸化炭素から、生物が光合成によって生成した有機物であり、生命と太陽エネルギーがある限り持続的に再生可能な資源です。また、大気中の二酸化炭素を増加させない「カーボンニュートラル」という特性があります。

### バイオマスの種類

バイオマスは大きく分けて3種類に分類されます。



バイオマスを利活用することで4つのメリットを実現させようと各府省で連携して取り組んでいるよ。4つのメリットは、

- ①地球温暖化の防止
- ②循環型社会の形成
- ③競争力ある我が国の戦略的産業の育成
- ④農林漁業、農山漁村の活性化

### カーボンニュートラル

生物の成長過程では光合成により二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）を固定するため、バイオマスを燃焼することでCO<sub>2</sub>を大気中に放出しても実質的に大気中のCO<sub>2</sub>を増やしません。バイオマスの利用は大気中のCO<sub>2</sub>に影響しないという考え方をカーボンニュートラルといいます。



バイオマスってなんとなくボクの名前と似てるね。気のせいかなあ？

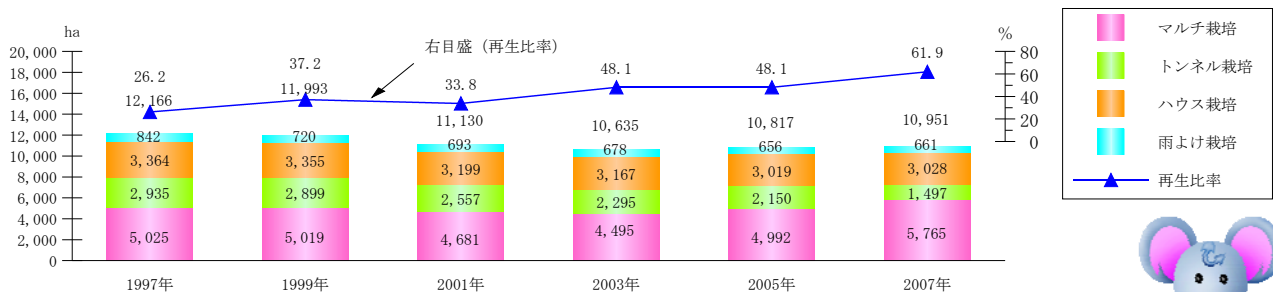


## ★ 環境

### 農業用プラスチックフィルムのリサイクル

施設園芸が盛んな東海地域では、使用済み農業用プラスチックフィルムの廃棄は、問題になっています。

(図3-14) 農業用プラスチックフィルムを利用した栽培面積及び再生処理率の推移



資料：東海農政局調べ。

農業用プラスチックの再生処理率は、2007年調査で5割を超え62%となったよ。



### バイオスタウン構想

バイオスタウンとは、地域の関係者が連携しバイオマスの発生から利用までを効率的に結ぶ利活用システムが構築されていて、適正にバイオマス利活用が行われている地域や今後、利活用が見込まれる地域のことをいいます。

東海地域でのバイオスタウン構想は、2006年度に岐阜県白川町及び三重県伊賀市、2007年度に愛知県豊橋市及び田原市、2008年度に岐阜県揖斐川町及び恵那市、愛知県名古屋市及び豊川市・小坂井町で策定・公表され、あわせて8地区となっています。

### バイオスタウン構想の概要

#### ○愛知県名古屋市（2008年4月公表）

民間事業者によるバイオマスのエタノール化、肥料化、堆肥化の施設整備を促進し、本市におけるバイオマスのメタン発酵の検討や焼却によるバイオマス発電と併せて、利活用手法の質的転換を進めています。また、ごみも資源に利用し、資源循環の環づくりや脱温暖化社会へ貢献するとともに、循環型社会の体感、循環型ライフスタイルを楽しめる都市環境づくりを目指しています。

#### ○岐阜県揖斐川町（2008年5月公表）

農業集落排水汚泥をコンポスト化し堆肥にするとともに、家畜排せつ物や家庭の生ごみ、公共下水汚泥からはメタン発酵させ発電に利用する。また、豊富に存在する木質バイオマスからも発電を行い道の駅等の施設に供給する他、ペレットストーブの燃料としての利用を図る。廃食油についてはバイオディーゼル燃料（BDF）化し、これにより恒久的な資源循環システムの構築を目指しています。

#### ○岐阜県恵那市（2009年3月公表）

下水汚泥堆肥を利用したバイオマスファームでの景観・資源作物生産と観光活性化を図るとともに、家畜排泄物の堆肥化による一般農地の地力改善、食品系廃棄物の循環利用による恵那ブランド商品の高付加価値化及び森林資源を原料とした木質ペレット・チップ・炭の生産と燃料利用に取り組んでいます。特に、下水汚泥堆肥を景観、資源作物等を栽培するバイオマスファームへの利用は、観光資源に変換させることにより地域の活性化やバイオマスエネルギーの利用等の促進を図り、「人・地域・自然が調和した交流都市」の実現を目指しています。

#### ○愛知県豊川市・宝飯郡小坂井町（2009年3月公表）

「バイオマスがつなぐ新しい価値の創造～多様なパートナーシップによるまちづくりへの挑戦～」を基本理念として、「①収益力のあるたい肥づくりの推進」「②多様なパートナーシップによるバイオマス利活用の推進」「③バイオマスの利活用による資源循環型まちづくりの推進」を事業化の視点とし、地域のバイオマスを利活用し、市民が一体となつてつくる豊川・宝飯ならではの循環型社会の形成を目指しています。